

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
(仮称)ふくおかフィナンシャルグループ北九州ビル

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質						3.6
Q1 室内環境			0.40			3.6
1 音環境		4.2	0.15	-	-	4.2
1.1 騒音		4.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル	40 < 室内騒音レベル 45	4.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		4.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	開口部の遮音性能はT-2以上としている	5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能	壁の遮音性能はDr-40以上を計画している	4.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音	居室の床・天井に吸音性材料を使用	4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.4	0.35	-	-	3.4
2.1 室温制御		3.8	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能	PAL値279MJ	5.0	0.25	3.0	-	
4 ゾーン別制御性	室・ゾーンごとに室内機が分かれ、冷暖房は自由に切替可能	4.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.4	0.25	-	-	3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御	ブラインドに庇(オーバーハング)を組み合わせてグレアを制御	4.0	1.00	3.0	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度	全般照明方式で照度が750lx以上1000lx未満	4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	内装材料は全面的にFを採用	4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	喫煙室を設置	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.8
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	複数の通信用引込み配管を設置	4.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高さは2.8mとしている	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画	無彩色によるモトーンを基調とし、案内サイン等の視認性に留意	4.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	部位・用途に応じて維持管理しやすい材料・工法を選定	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	メンテナンス性の確保に留意	5.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-	3.5
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	花崗岩打ち込みPC版とし長寿命化を図った	5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	用途に合わせて石・タイルカーペット・ビニルタイル等を使用	5.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外ダクトはガルバリウム鋼板を使用	4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP、通気SGP白(A種)、E種は使用無	5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	熱源の2重化、配管は吊配管	4.0	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水型器具の使用、配管の系統区分化、受水槽は二槽式	4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	非常用発電機(300kVA)、受変電設備ともに屋上設置	5.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	MDF室を2階に設置	3.0	0.20	-	-	
				4.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			4.3	0.29	-	-	4.3
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
	1	階高のゆとり	階高4.3m	5.0	0.60	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.188	4.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		4500N/m ² 以上を確保	5.0	0.31	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			3.5	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性	PSに予備スリーブを設置	4.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	PSに予備スリーブを設置	5.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制				3.2	0.30	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				4.1	0.30	-	-	4.1
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)				4.1		-	-	
集合住宅の評価				3.0		-	-	
4 効率的運用				3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング				4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.63	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.68	-	-	
1 消火剤				4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	0.33	-	-	
2 振動				3.0	0.33	-	-	
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	